アメリカ（ハワイ州）

Q1 鍼をするために必要な資格

2625時間の臨床を含んだ履修を習得し、ハワイ州の鍼灸免許試験に合格すること（日本の鍼灸学校の履修時間もカウントされる）。就労認可がないと試験が受けられないこと、免許取得後2年ごとに免許の更新（更新料220ドル、日本円で約2万1000円）が必要であることに注意。なお、鍼灸を行うには医師でも鍼灸師の資格が必要。

Q2 鍼が学べる場所

鍼灸学校はハワイ島に1校、ホノルル市があるオアフ島に2校。

Q3 学費の目安

オアフ島にあるICAOM校を例にすると、授業料および諸経費を概算して、4年間で4万9500ドル（約469万円）。

Q4 1回の治療費の目安

初診料をとるところもあれば、全身治療や部分治療などの治療内容にかかわらず、一定額の治療費だけのところもある。平均すると約30～100ドル（約3000円～9000円）。

Q5 1日に何人治療すれば、生活できるか

食材を含め、ほとんどの生活用品は貨物船で米本土からの輸送に頼っているため、物価は常に高い。だが、気候的には1年中Tシャツとサンダルで過ごせ、冷暖房もほとんど必要ないので、贅沢しなければ、平均1日4～5人でもやっていける。ただし、自宅診療ではなく、賃貸の場合は1日平均5～6人を診療していないと維持が困難。

Q6 現地の特徴

2011年の統計によると、ハワイ州の鍼灸師の人数は648人で、うちオアフ島が283人と最も多い。ハワイ州は高齢者が多いため、副作用の少ない鍼灸や漢方などの東洋医学の需要は今後も安定していくと考えられる。

（協力：ハワイ州政府鍼灸審議委員会議長　マイク橋本）

カナダ

Q1 鍼をするために必要な資格

アメリカと同様に、各州によって異なるが、トロント市のあるオンタリオ州では、4月から正式に法案化され、すべての鍼灸師は州政府が課す鍼灸資格試験に合格後、正式に登録されなければ鍼灸治療はできない。ただし、医師、カイロプラクター、看護師、理学療法士などの既存の医療資格者は、各々の規則に従って鍼灸治療を行うことが可能。

Q2 鍼が学べる場所／Q3 学費の目安

現在人口550万のトロント市には53万人以上の中国人が住んでおり、中国人が運営する数校の中医学院が鍼灸師の主な教育機関となっている。その他、指圧学校、医師、カイロプラクター等が独自に行う鍼灸治療の短期講習会なども多数あり、学費もさまざま。平均すると3カ月で約3000カナダドル（約28万円）。

Q4 1回の治療費の目安

漢方薬治療を中心に行い、鍼治療は補助的に行う。中国人治療家の場合は、鍼は1時間で約20～40カナダドル（約2000円～4000円）、日本でしっかりと臨床経験を経てから、北米で開業している鍼灸師ならば約60～90カナダドル（約6000円～8000円）。

Q5 1日に何人治療すれば、生活できるか

家賃や諸経費を考えると、1カ月延べ約100人の患者を診ればようやく生活が成り立つ程度だと思われる。実働が20日だとすると1日5人以上。

Q6 現地の特徴

鍼灸が1970年代に初めて紹介された北米では、自然療法ないし代替医療は、若い世代（20～50歳代）を中心に、圧倒的な支持を受けており、鍼灸治療も同様である。トロント市では、中国人の人口に比例して、日本式鍼灸より圧倒的に中国式鍼灸がメジャーとなる。

（協力：登美ヶ丘治療院　野口創）

ブラジル

Q1 鍼をするために必要な資格

資格制度は国会で審議中であり、一方では医師、理学療法士などスペシャリスト・グループが鍼灸治療の独占権を求め、他方では独立した鍼灸師業を求める鍼灸師組合がテクニシャンまたは鍼灸大学コースを認めるよう国会に働きかけている。したがってブラジル国内では主に、スペシャリスト（医療系大学卒業で鍼灸を勉強した者）とテクニシャン（鍼灸専門学校などの鍼灸講習を受けた者）が、鍼灸師として活動している。日本の鍼灸師免